

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	191
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林資源活用推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	地域経済活性化プログラム		
		21世紀の環境プラン		
	法令・例規等			
事業目的		対象	住宅建築主、住宅建設業者、住宅設計事務所	
		意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る	

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対しての補助金交付を行いました。それにより木材自給率を高めることができました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				2,070					
		その他の経費				0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数		戸	12	10	12	9	12	12			
1年度決算(千円)	予算額		3,497	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		2,070									
	財源の状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		2,070										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	6	2	2	26	6	3,497	2,070	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		住宅を建てるには、多額の費用がかかり、使用する材も安価な外材や他地域材の利用が多いのが現状であり、いかに木材産業振興のため地元産材の利用を進めるかが課題です。さらなる利用を進めるためには、地域産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。これまでの活動の検証を行い、木材利用の拡大につなげる展開が必要です。								
上記の課題解決のための有効策		木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。								
次年度に向けての取り組み		木材の利用を進めるため飯田市産材を使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。								